

調査結果の概要

A 発育状態(身長・体重・座高)

2 身長・体重・座高の推移

(2)体重

体重の福井県平均値について、平成16年度、過去4年間、10年前、20年前および30年前と比較してみると表4のとおりである。

表4 男女別、年齢別 体重の推移

(単位: kg)

区 分			平成					昭和			体 重 差			
			16年度	15年度	14年度	13年度	12年度	6年度 10年前	59年度 20年前	49年度 30年前	現在と 10年前	現在と 20年前	現在と 30年前	
			A					B	C	D	A-B	A-C	A-D	
男	幼稚園	5歳	19.0	19.0	19.1	19.3	19.3	19.3	19.0	18.7	△ 0.3	0.0	0.3	
		6歳	21.7	21.7	21.8	21.3	21.8	21.8	21.2	20.5	△ 0.1	0.5	1.2	
		7歳	24.0	24.7	24.5	24.2	24.6	24.3	23.5	22.7	△ 0.3	0.5	1.3	
		8歳	27.8	27.9	27.5	27.6	27.9	27.5	26.4	25.5	0.3	1.4	2.3	
		9歳	30.2	31.3	31.4	31.4	30.7	30.3	29.6	28.3	△ 0.1	0.6	1.9	
		10歳	34.5	35.2	34.7	34.8	34.6	34.0	32.3	31.5	0.5	2.2	3.0	
	小学校	11歳	38.9	38.7	39.2	39.0	39.2	38.0	36.2	34.9	0.9	2.7	4.0	
		中学校	12歳	44.0	44.6	44.7	45.5	45.6	43.9	41.3	39.9	0.1	2.7	4.1
			13歳	49.3	49.2	50.8	50.4	50.8	48.8	47.4	45.1	0.5	1.9	4.2
			14歳	55.6	55.7	55.2	55.7	54.9	54.3	53.3	51.3	1.3	2.3	4.3
	高等学校	15歳	60.8	60.8	60.5	59.8	60.4	60.0	58.2	55.6	0.8	2.6	5.2	
		16歳	62.8	62.9	61.8	62.3	62.5	62.1	61.0	58.0	0.7	1.8	4.8	
		17歳	64.1	63.9	63.9	63.0	62.6	62.7	61.1	59.2	1.4	3.0	4.9	
	女	幼稚園	5歳	18.7	18.8	18.9	18.9	18.9	18.7	18.7	18.2	0.0	0.0	0.5
6歳			20.9	21.3	21.0	21.3	21.4	21.3	20.3	20.1	△ 0.4	0.6	0.8	
7歳			23.8	24.0	23.9	23.7	23.8	23.6	23.1	22.2	0.2	0.7	1.6	
8歳			26.8	26.7	27.2	26.8	27.1	27.1	25.8	25.3	△ 0.3	1.0	1.5	
9歳			30.2	30.8	30.8	30.4	31.1	30.5	29.0	28.1	△ 0.3	1.2	2.1	
10歳			34.8	34.7	34.9	34.9	34.9	34.3	32.8	31.9	0.5	2.0	2.9	
小学校		11歳	39.3	39.7	39.8	40.3	40.1	39.4	38.0	36.6	△ 0.1	1.3	2.7	
		中学校	12歳	44.8	44.5	45.5	44.5	44.8	44.1	42.7	41.7	0.7	2.1	3.1
			13歳	48.0	48.5	48.3	48.7	48.8	48.3	47.4	45.8	△ 0.3	0.6	2.2
			14歳	50.8	51.4	51.4	51.3	50.8	51.0	50.7	49.2	△ 0.2	0.1	1.6
高等学校		15歳	52.5	52.8	52.6	52.7	53.4	52.2	52.8	51.3	0.3	△ 0.3	1.2	
		16歳	53.5	54.5	53.1	53.5	53.9	53.8	53.7	52.3	△ 0.3	△ 0.2	1.2	
		17歳	54.0	53.9	54.0	54.0	53.2	53.9	54.0	53.4	0.1	0.0	0.6	

男子の17歳において過去最高となっているものの、男子、女子共に伸びは横ばい状態となっている。

10年前と比較すると、ほぼすべての年齢において差はない。女子の15歳から17歳(高等学校)では20年前と比較してもマイナスまたは同じとなっているのが目立つ。親の世代と比較すると、男子、女子共にすべての年齢でプラスとなっているが、男子は小学校以降差が拡大しているものの、女子は中学校を境

に縮小している。

17歳の過去の年間発育量をみると、男子は12歳時、女子は11歳時において最も成長しており、以降は発育量が急速に減少している。親の世代と比較すると、男子は1歳早く、女子は同時期にピークを迎えている。

図8 出生年度別7歳年間発育量の比較(体重)

